

科目名	コンピュータシステムⅡB						
科目名(英)							
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	底田 浩次		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	国際ITエンジニア科3年						
授業概要	PHPの学習を通じて、Webアプリケーションの動作の仕組み、Webアプリケーションのセキュリティ対策(サニタイジング・XSS対策・SQLインジェクション対策)などを学習し、セッションという概念やcookie管理などを、学習する。 また、卒業研究として、独自のWebシステムを構築する上でのプログラム設計を行う。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				システム開発の概要を理解する。	
	○	○				セキュリティに対する脅威を理解する	
	○	○				脅威に対してのセキュアなプログラミングを理解する。	
	○	○				システム設計を実際に行える。	
テキスト・教材 参考図書	『スラスラわかる PHP』						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	前期の振り返り					
	2-3	テーブルデータの読込と表示				既習内容を必ず復習しておくこと	
	4	授業内評価テスト① lolipopへ実装					
	5-6	セッションとcookieの管理					
	7	ハッシュ関数を利用した、パスワードの暗号化				既習内容を必ず復習しておくこと	
	10	授業内評価テスト② lolipopへ実装					
	11-12	XSS対策とCRSF対策					
	13-14	セッションハイジャック対策とSQLインジェクション対策				既習内容を必ず復習しておくこと	
	15	授業内評価テスト③ lolipopへ実装					
	16-19	Webシステムテーマの選定とレビュー					
	20-21	要件定義					
	22-23	画面設計及びドキュメント作成					
	24-25	DB設計及びドキュメント作成					
	26-28	内部設計及びドキュメント作成					
29-30	プログラム設計及びドキュメント作成						
評価方法	(1)授業内評価テストを数回実施する。 (2)授業内に課題演習を指示し、課題の完成度や提出状況を評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業内評価テスト	○	◎				50%
	課題・レポート		◎		○		40%
	受講状況				◎		10%
履修上の注意	2/3以上の出席がない場合は単位未取得となる。 授業計画は状況により変更になることがある。 再試験は実施しない。						

科目名	ネットワーク・サーバー演習B						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	底田 浩次		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	国際ITエンジニア科3年						
授業概要	企業内サーバとして構築されるLinuxについて、基本的な操作方法、役割などを学ぶ。またGit及びGitHubを学びながらLinuxの基本操作、SSHなどのCUIコマンド操作を学習する。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				Linuxの概念や役割を説明できる	
	○	○				Gitによるバージョン管理を学ぶ	
	○	○				Git Hubのリポジトリの利用ができる	
	○	○				Git Hubのブランチが利用できる	
	○	○				Git Hubを用いてチームで開発ができる	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	Git Hubに公開鍵を設定する					
	2	リモートプロジェクトをフォークする					
	3	リモートプロジェクトをクローンする				既習内容を必ず復習すること	
	4	授業内評価テスト① Webサイトの編集作業の準備をする					
	5	ブランチの概念の理解					
	6	プルリクエストの作成					
	7	プルリクエストのレビュー					
	8	プルリクエストのマージ				既習内容を必ず復習すること	
	9	授業内評価テスト② 今までの振り返り					
	10	複数ブランチを使うためのシナリオの理解					
	11	専用ブランチでスピーカーの情報の更新					
	12	ブランチでのセッション情報の更新				既習内容を必ず復習すること	
	13	授業内評価テスト③ 今までの振り返り					
	14	コンフリクトとコンフリクト対策					
15	OSSとGit Hubの連携						
評価方法	(1)授業の中で授業内評価テストを数回実施する。(2)課題・レポートを2回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業内評価テスト	○	◎				50%
	課題・レポート	○	◎		○		40%
	受講状況				◎		10%
履修上の注意	2/3以上の出席がない場合は単位未取得となる。授業計画は状況により変更になることがある。再試験は実施しない。						

科目名	Webプログラミング演習B						
科目名(英)							
単位数	6単位	時間数	90時間	担当者	底田 浩次		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	国際ITエンジニア科3年						
授業概要	WebプログラムであるPHP言語とDBのMySQLサーバを用い、lolipopのレンタルサーバー上にショッピングサイトを実装する。また、学生独自のショッピングサイトシステムを卒業研究として作成を行う。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				PHPの概念や役割を説明できる	
	○	○				PHPの基本関数、アルゴリズムを理解することが出来る。	
	○	○				DBの概念や役割を説明できる	
	◎	◎				DBを用いた、Webプログラミングを理解・作成することができる。	
テキスト・教材 参考図書	『気づけばプロ並みPHP』(リックテレコム)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	前記の振り返り、ログアウト画面の作成とlolipopoへの実装			既習内容を必ず復習しておくこと		
	2	授業内評価テスト① lolipopサーバへの実装					
	3	配列とSwitch文					
	4	reqiueを用いたモジュールの読込					
	5-9	ショッピングカートの作成			既習内容を必ず復習しておくこと		
	10	授業内評価テスト② lolipopへの実装					
	11-12	注文画面の作成					
	13	自動返信メールの作成					
	15-16	DBへのロックとアンロック					
	17-20	CSVファイルの作成と、文字コードのエンコード			既習内容を必ず復習しておくこと		
	21	授業内評価テスト③ 今までの振り返り lolipopへ実装					
	22-26	会員登録及び、会員メニューの作成			既習内容を必ず復習しておくこと		
	27	授業内評価テスト④ 今までの振り返り lolipopへ実装					
	28-40	それぞれのテーマに沿って、Webサイトの構築					
41-45	プレゼン資料作成						
評価方法	(1)授業の中で授業内評価テストを数回実施する。(2)課題・レポートを2回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業内評価テスト	○	◎				50%
	課題・レポート	○	◎		○		40%
	受講状況				◎		10%
履修上の注意	2/3以上の出席がない場合は単位未取得となる。 授業計画は状況により変更になることがある。 再試験は実施しない。						

科目名	CAD演習B						
科目名(英)							
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	手嶋 隆之		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	国際ITエンジニア科3年						
授業概要	設計図に関する基本的な知識の習得と設計図の役割、設計図の書き方を理解する。 AutoCAD LTを利用して、サンプル設計図の作成と演習課題の作成を通して、設計図の作図に必要な基礎知識の習得と作図技術の習得する。仕様書を元に、一から設計図を起こす事ができる。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
			○	○		AutoCAD LTの基本操作を理解し、設計図に必要な基礎知識を習得する。	
		○	○			設計図を一から作図する事が出来る。	
テキスト・教材 参考図書	はじめて学ぶ AutoCAD LT 作図・操作ガイド						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1-2	振り返り(AutoCAD LTの概要)、CAD概要					
	3-4	課題、【Part4】画層の管理と操作(4-1)					
	5-6	【Part4】画層の管理と操作(4-1から4-2)				授業内評価テスト①準備	
	7-8	【Part4】画層の管理と操作(4-2)、授業内評価テスト①					
	9-10	【Part5】文字と寸法線を入力する(5-1から5-2)					
	11-12	【Part5】文字と寸法線を入力する(5-3から5-4)					
	13-14	【Part6】レイアウトとペーパー空間(6-1から6-2)					
	15-16	【Part6】レイアウトとペーパー空間(6-3から6-4)					
	17-18	【Part7】印刷					
	19-20	【Part8】効率よく作業する(8-1から8-4)					
	21-22	【Part8】効率よく作業する(8-4から8-8)					
	23-24	【Part8】効率よく作業する(8-9)、授業内評価テスト②				授業内評価テスト②準備	
	25-26	課題①					
	27-28	課題②					
29-30	課題③						
評価方法	(1)授業内評価テストを2回実施する。(2)課題を数回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業内評価テスト	◎	◎				40%
	課題		◎		◎		50%
	受講状況				◎		10%
履修上の注意	再試験は実施しない。2/3以上の出席がない場合は単位未取得となる。授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	IT応用ⅡB						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	底田 浩次		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	国際ITエンジニア科3年						
授業概要	PHP言語を用い、実際にプログラムからPDOオブジェクトを使って、DBにアクセスを行い、プリペアドステートメントを学習しながら、SQLをプログラムに実装する方法を学習する。						
授業形式	講義: ○	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				PHPからDBにアクセスができる。	
	○	○				プリペアドステートメントについて理解、説明ができる。	
	○	○				プリペアドステートメントを用いた、PHPプログラムを実装できる。	
テキスト・教材 参考図書	SQL入門教室 ソーテック社						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	プリペアドステートメント 4種類の書き方					
	2	BETWEEN句を用いたDBアクセス					
	3	LIMIT句を用いたDBアクセス				既習内容を必ず復習しておくこと	
	4	授業内評価テスト① これまでの復習					
	5	LIKE検索の実装					
	6	ORDER BYの実装				既習内容を必ず復習しておくこと	
	7	授業内評価テスト② これまでの復習					
	8	表の結合の実装					
	9	GROUP BYの実装				既習内容を必ず復習しておくこと	
	10	授業内評価テスト③ これまでの復習					
	11	UPDATE文の実装					
	12	DELETE文実装					
	13	トランザクションの実装					
	14	ロールバックとコミットの実装とロック・アンロック				既習内容を必ず復習しておくこと	
15	授業内評価テスト④ 総復習						
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業内評価テストを複数回実施する。 (3)授業内に課題演習を指示し、課題の完成度や提出状況を評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	授業内評価テスト	◎	◎		○		40%
	課題演習	○	○		◎		10%
履修上の注意	2/3以上の出席がない場合は単位未取得となる。 授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	言語ⅢB						
科目名(英)							
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者			
実施年度	2022年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	国際ITエンジニア科3年						
授業概要	N1レベルの文法項目を学び、日常的な場面に加えて更に幅広い場面で使われる日本語が理解し、運用できるようになる						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					日常のより幅広い場面で必要なN1レベルの文型を理解し、自分の言葉で説明できる	
	○					フォーマルな場面と日常的な場面での日本語の差異を理解し、適切な文法の使い分けができる	
		○				学習した文型を使って相手や状況にふさわしい文を作ることができる	
テキスト・教材 参考図書	『新完全マスター文法 日本語能力試験N1』(スリーエーネットワーク)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1・2	前期の復習 / 文法形式の整理 C・D			新出語彙等は必ず家で復習をすること		
	3・4	文法形式の整理 E / 文法形式の整理 F			新出語彙等は必ず家で復習をすること		
	5・6	文法形式の整理 G / まとめテスト			新出語彙等は必ず家で復習をすること		
	7・8	第2部1課文の組み立て1/ 2課文の組み立て2			新出語彙等は必ず家で復習をすること		
	9・10	第2部3課文の組み立て3/ まとめテスト			新出語彙等は必ず家で復習をすること		
	11・12	第3部1課時制 / 2課条件を表す文			新出語彙等は必ず家で復習をすること		
	13・14	3課視点を動かさない手段1 / 4課視点を動かさない手段2			授業内評価テスト①準備		
	15・16	授業内評価テスト① / 第3部5課視点を動かさない手段3			新出語彙等は必ず家で復習をすること		
	17・18	6課視点を動かさない手段4 / 7課指示語表現			新出語彙等は必ず家で復習をすること		
	19・20	8課「は・が」の使い分け / 9課接続表現			新出語彙等は必ず家で復習をすること		
	21・22	10課省略・繰り返し・言い換え / 11課文体の一貫性			新出語彙等は必ず家で復習をすること		
	23・24	12課話の流れを考える / まとめテスト			新出語彙等は必ず家で復習をすること		
	25・26	第1回模擬試験 / 解説			新出語彙等は必ず家で復習をすること		
27・28	第2回模擬試験 / 解説			授業内評価テスト②準備			
29・30	授業内評価テスト② / 履修内容のまとめ						
評価方法	(1)授業内評価テストを実施する。(2)小テスト・課題を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業内評価テスト	◎	◎				60%
	小テスト	◎	◎				20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	2/3以上の出席がない場合は単位未取得となる。 授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	言語基礎ⅢB						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者			
実施年度	2022年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	国際ITエンジニア科3年						
授業概要	日本語能力試験N1レベルの語彙をマスターするために、専門のテキストに沿って学習し、知識を積み上げていく。また、学んだ語彙を使用した発話練習も行う。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	◎					日本語能力試験N1レベルの語彙を習得する	
		○				習得した語彙を適切な場面で運用できるようになる	
テキスト・教材 参考図書	『新完全マスター語彙 日本語能力試験N1』(スリーエーネットワーク)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	第2部2章1課「副詞・形容詞」				次回の予習・小テストの準備	
	2	第2部2章2課「動詞・名詞」				次回の予習・小テストの準備	
	3	第2部3章1課「漢語」				次回の予習・小テストの準備	
	4	第2部3章2課「和語」				次回の予習・小テストの準備	
	5	第2部4章1課「程度、時間、頻度の副詞」				次回の予習・小テストの準備	
	6	第2部4章2課「後ろに決まった表現が来る副詞」				次回の予習・小テストの準備	
	7	第2部4章3課「まとめて覚えたい副詞・その他の副詞」・復習				次回の予習・授業内評価テスト①の準備	
	8	第2部5章1課「ものの様子・人の様子①」・授業内評価テスト①				次回の予習・小テストの準備	
	9	第2部5章2課「人の様子②」				次回の予習・小テストの準備	
	10	第2部6章1課「体の言葉を使った慣用表現①」				次回の予習・小テストの準備	
	11	第2部6章2課「体の言葉を使った慣用表現②・その他の慣用表現」				次回の予習・小テストの準備	
	12	第2部7章1課「複合動詞①」				次回の予習・小テストの準備	
	13	第2部7章2課「複合動詞②」				次回の予習・小テストの準備	
	14	第2部7章3課「接尾辞・接頭辞」				次回の予習・授業内評価テスト②の準備	
	15	復習・授業内評価テスト②					
評価方法	(1)授業内評価テストを実施する。(2)小テスト・課題を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業内評価テスト	◎	◎				60%
	小テスト	◎	◎				20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	2/3以上の出席がない場合は単位なしとする。 授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	言語応用ⅢB						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者			
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	国際ITエンジニア科3年						
授業概要	N1レベルの聴読解問題に取り組み、実生活の幅広い場面で必要な読み聴きの力を習得することを目的とする。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					N1レベルの語彙や表現を習得し、使用言語域を拡大することができる。	
		○				耳からの情報だけで話の要点を掴み、内容を理解し適当な応答をすることができる。	
		○				文章を正しく読み取り、文脈や話の意図が理解できるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	『ドリル&ドリル日本語能力試験N1聴解・読解』(ユニコム) 『新完全マスター読解N1』(スリーエーネットワーク)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	後期授業について、読解:文章のしくみを理解する 対比				授業の復習および次回の予習	
	2	聴解:課題理解第3回、読解:文章のしくみを理解する 言い換え				授業の復習および次回の予習	
	3	聴解:ポイント理解第3回、読解:文章のしくみを理解する 比喻				授業の復習および次回の予習	
	4	聴解:概要理解第3回、読解:文章のしくみを理解する 疑問提示文				授業の復習および次回の予習	
	5	聴解:即時応答第3回、読解:問を解く技術を身に付ける 指示語を問う				授業の復習および次回の予習	
	6	聴解:統合理解第3回①、読解:問を解く技術を身に付ける 誰が何を問う				授業の復習および次回の予習	
	7	聴解:統合理解第3回②、読解:問を解く技術を身に付ける 下線部の意味を問う				授業内評価テスト①準備	
	8	授業内評価テスト①、後期前半まとめ				授業の復習および次回の予習	
	9	聴解:課題理解第4回、読解:問を解く技術を身につける 理由を問う				授業の復習および次回の予習	
	10	聴解:ポイント理解第4回、読解:問を解く技術を身に付ける 例を問う				授業の復習および次回の予習	
	11	聴解:概要理解第4回、読解:全体をつかむ				授業の復習および次回の予習	
	12	聴解:即時理解第4回、読解:情報を探し出す 広告				授業の復習および次回の予習	
	13	聴解:統合理解第4回①、読解:情報を探し出す お知らせ				授業の復習および次回の予習	
	14	聴解:統合理解第4回②、読解:情報を探し出す 説明書き				授業内評価テスト②準備	
	15	授業内評価テスト②、後期後半まとめ					
評価方法	(1)授業内評価テストを実施する。(2)小テスト・課題を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業内評価テスト	◎	◎				60%
	小テスト	◎	◎				20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	2/3以上の出席がない場合は単位未取得となる。授業計画は状況により変更になることがある。						

科目名	企業HR論B						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	底田 浩次		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	国際ITエンジニア科3年						
授業概要	留学生が日本で就職をし、仕事をしていく上で有益となる知識を身につけ、自己発信力や傾聴力をさらに伸ばし、社会人基礎力などを理解していく。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○			○		日本で仕事をするために必要となる知識を身につけ、よりスムーズに社会人生活をスタートすることができる。	
テキスト・教材 参考図書	就職ガイドブック						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	オリエンテーション、後期の授業に関して					
	2	留学生の就職の形態について①					
	3	企業研究とは①					
	4	企業研究とは②					
	5	留学生の就職の形態について②					
	6	企業がもつめる人物像について①					
	7	企業がもつめる人物像について② 授業内評価テスト①				授業内評価テスト①準備	
	8	企業がもつめる人物像について③					
	9	企業がもつめる人物像について④					
	10	面接における会話について①					
	11	面接における会話について②					
	12	面接における会話について③					
	13	社会人基礎力とは①					
	14	社会人基礎力とは②				授業内評価テスト②準備	
15	社会人基礎力理解度確認 授業内評価テスト②						
評価方法	授業内評価テスト、提出物および態度・意欲にて評価する。 成績評価基準は、R(60点以上)・D(60点未満)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	受講状況				◎		50%
	授業内評価テスト	◎					50%
履修上の注意	2/3以上の出席がない場合は単位未取得となる。 授業計画は状況により変更になることがある。 再試験は実施しない。						